

# 地域女性活躍推進交付金(つながりサポート)事務【四條畷市】

## 地域の実情と課題

新型コロナウイルス感染症の影響で経済的に困窮し、生理用品が買えない女性や様々な事情の小中学生に生活困窮やなんでも相談の窓口や電話相談を開設しているが、相談事例が少ないため実態把握が難しい



## 目的・目標

- \* 不安を抱える女性に対し、必要な生理用品を配布し、相談事業をPRして相談事例を増やす
- \* 生活困窮者の実態を把握し、相談者の支援に繋げる
- \* 経済的な側面だけでなく、個別の家庭が抱える問題のほりおこし

目標相談件数は5件

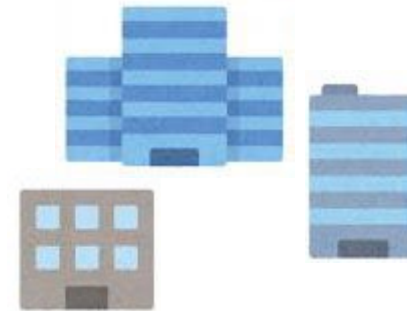
## 事業の特徴

- \* 公共施設や小中学校のトイレにカードを設置することで目にももらえる
- \* 生理用品自体は窓口で声を出さなくてもカードを提示すれば受け取れるように配慮している。その際、人権なんでも相談のチラシを入れてあるので、相談できる窓口を把握してもらえる
- \* 学校では保健室での提供で、擁護教諭に不安や悩みを相談できる機会となる



## 連携団体

- 四條畷市教育委員会
- 四條畷市社会福祉協議会
- 四條畷市人権協会



## 事業の効果

- \* 経済的に苦慮されているのが少しでも負担軽減につながる。
- \* この事業で、公共施設でチラシ、カードを見る事などや、HP、広報などで、なんでも相談の窓口や電話相談ができる事を知ってもらえたので、今後、支援につながる



## 今後の課題

- \* 配布窓口に取りに来ることのハードルが高い
- \* 生理の困窮と他人に公言する事へ抵抗がある
- \* 市の施設は夕方閉館が多いので働いていると行く時間がない

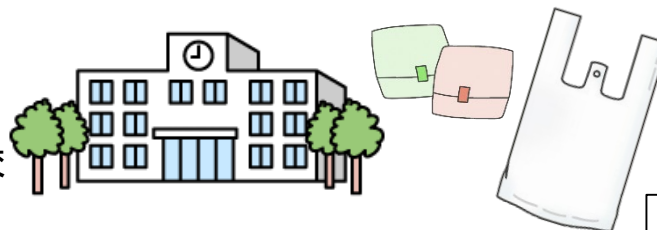
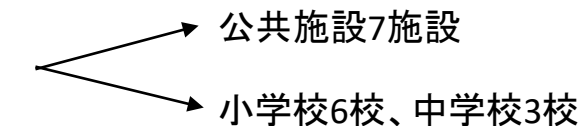


## あじさいプロジェクト



### 事業内容・効果

- 意思カードを各公共施設と学校に設置し、カードを窓口で見せると生理用品をもらえる  
その時に「なんでも相談」のチラシも渡し、困りごとの相談につなげる
- 経済的に困窮されているのが、少しでも負担軽減につながる
- 市広報、ホームページなどにも掲載して、より多くの方に知ってもらう



- ① 市内の公共施設、小中学校には個々にチラシ、カード設置場所等検討する
- ② 各施設に電話したり、出向いて実態把握や生活困窮者支援に繋げるようにする配布数や気になる事など聞き込みをする
- ③ 生理用品、チラシ、カードの補充の際に各施設の声を聞く
- ④ 月に一度、実績報告(配布状況)を聞く
- ⑤ 小中学校へマスク配布し、なんでも相談の周知をはかる



小中学生の保護者のみなさま 四條市人権協会

平素は、本会にご協力いただきありがとうございます。  
四條市より委託をうけ下記の事業を行っています。  
保護者のみなさまのご理解をよろしくお願ひします。

### 人権 なんでも相談

暴力を受けている、人間関係に悩んでいる、職場や学校、道路の事、誰にも打ち明けられない悩みや心配を聞きます (秘密厳守・相談無料)

ところ・四條市役所東別館1階 人権・市民相談課内  
・グリーンホール田原(田原支所)テレビ電話対応

とき 月曜日～金曜日 午前10時～午後4時  
夜の電話相談 毎週月曜日 午後5時～午後9時  
(年末年始・土日祝は休み)

地域女性活躍推進交付金事業(つながりサポート型) 期間限定事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に起因して、不本意に退職や収入減になった女性、苦境に陥った女性など様々な課題を抱える女性を重点的に支援するためこの交付金を利用して生理用品を希望者に配布しています。

